

事務事業評価シート（ 1 / 2 ）

評価年度 令和 7年度 進捗区分 2 次評価

所属 0001233010 健康推進課健康推進係

事務事業 02633 広域二次医療事業

電話番号 0566-76-1133

【基本情報】

計画回数	03	第 9 次安城市総合計画			
重点戦略	002	ちから			
分野別	005	9 健康・医療			
施策の取組	005	地域医療体制の充実			
事務事業	001	広域二次医療事業			
事業期間	平成元年度 ~				
実施方法	直営				
会計区分	一般会計	事業区分	経常的	性質別費目	
重点戦略	ちから	マニフェスト			
根拠法令等					
備考					

【事業分析】

対象	
目的	
手段	
事務内容	地域住民の休日・夜間における入院治療を必要とする重症患者の医療確保を図ることを目的として、衣浦西尾広域二次救急医療圏（碧南市・刈谷市・安城市・西尾市・知立市・高浜市）の救急医療を円滑に推進するため、地域内の病院群輪番制病院の運営に対する費用を負担します。

【コスト】

（単位：千円）

		令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
		決算額	決算額	予算額
トータルコスト		9,643	9,966	10,272
事業費	事業費	8,973	9,236	9,542
	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	8,973	9,236	9,542
	人件費計	670	730	730
	正規（人）	0.10	0.10	0.10
その他経費		0	0	0

	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	負担金の支払い	負担金の支払い	負担金の支払い
【事務事業活動実績】			

事務事業評価シート（ 2 / 2 ）

2 頁

令和 8 年 8 月 12 日
15 時 04 分 54 秒

評価年度 令和 7 年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001233010 健康推進課健康推進係
事務事業 02633 広域二次医療事業

【 定量評価 】 上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度

【 定性評価 】

カテゴリ		評価の観点		基準		ランク
1	必要性	国・県・民間等との補完性	1	国・県・民間等がサービスを行っていない		1
			2	国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある		
			3	国・県・民間等が同様のサービスを行っている		
	理由	他の実施主体では実施していません。				
2	必要性	市民ニーズの有無	1	市民ニーズは充分にある		1
			2	社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している		
			3	市民ニーズはない又は不明である		
	理由	二次救急医療圏の機能維持のために必要です。				
3	有効性	目標に対する進捗状況	1	目標を上回る又は目標どおりの進捗である		
			2	目標を下回る進捗状況である		
			3	進捗はかなり遅れている		
	理由					
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減	1	事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている		2
			2	事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる		
			3	事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない		
	理由	事務改善に取り組んでいます。				
5	公平性	事業規模・サービス水準	1	環境変化や他自治体等と比較して適正である。		1
			2	環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。		
			3	環境変化や他自治体等と比較して適正でない。		
	理由	適正に実施しています。				

【 1 次評価結果 】

事業の方向性	維持・継続
1 次コメント (4 0 0 文字)	二次救急医療機関は、一次救急医療機関では対応できない地域の重症患者を受け入れています。引き続き広域的に二次救急医療体制の救急機能を確保し、市民がかかりつけ医を持ち、救急の場合に適切な受診先を選択できるよう、円滑な地域医療体制への支援を行っていきます。

【 2 次評価結果 】

事業の方向性	評価未実施
2 次コメント (4 0 0 文字)	本事業においては、2 次評価を実施していません。

事務事業評価シート（ 1 / 2 ）

3 頁

令和 8 年 8 月 12 日
15 時 04 分 54 秒

評価年度 令和 7 年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001233010 健康推進課健康推進係
事務事業 02634 医療環境整備補助事業

電話番号 0566-76-1133

【基本情報】

計画回数	03	第 9 次安城市総合計画			
重点戦略	002	ちから			
分野別	005	9 健康・医療			
施策の取組	005	地域医療体制の充実			
事務事業	002	医療環境整備補助事業			
事業期間	平成元年度 ～				
実施方法	直営				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
重点戦略	ちから	マニフェスト			
根拠法令等	救急医療事業補助金交付要綱、高度医療機器等整備補助金交付要綱、看護師養成補助金交付要綱ほか				
備考	平成28年度の事務事業の見直しにより、平成29年度から以下の事業を統合しています。 ・更生病院・八千代病院救急医療補助事業 ・高度医療機器等整備補助事業 ・看護師養成補助事業				

【事業分析】

対象	将来にわたり市民が
目的	質の高い地域医療サービスの提供を受けられるようになります。
手段	地域医療体制の充実に資するため、第2次・第3次救急医療の運営や高度医療機器購入、安城更生病院新棟建設補助事業、看護師養成事業に要する経費に対し、補助金を交付します。
事務内容	地域医療環境の整備をすることを目的に、補助金を交付します。

【コスト】

（単位：千円）

	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
	決算額	決算額	予算額
トータルコスト	551,510	549,523	571,690
事業費	549,500	547,333	569,500
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	549,500	547,333	569,500
人件費計	2,010	2,190	2,190
正規（人）	0.30	0.30	0.30
その他経費	0	0	0

	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
【事務事業活動実績】	補助金の交付 ・救急医療事業補助金（安城更生病院・八千代病院）・高度医療機器整備事業補助金（安城更生病院・八千代病院）・安城更生病院新棟建設工事補助金・看護師養成事業補助金（安城市医師会）	補助金の交付 ・救急医療事業補助金（安城更生病院・八千代病院）・高度医療機器整備事業補助金（安城更生病院・八千代病院）・安城更生病院新棟建設工事補助金・看護師養成事業補助金（安城市医師会）	補助金の交付 ・救急医療事業補助金（安城更生病院・八千代病院）・高度医療機器整備事業補助金（安城更生病院・八千代病院）・安城更生病院新棟建設工事補助金・看護師養成事業補助金（安城市医師会）

事務事業評価シート（ 2 / 2 ）

4 頁

令和 8年 8月12日
15時04分54秒

評価年度 令和 7年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001233010 健康推進課健康推進係
事務事業 02634 医療環境整備補助事業

【 定量評価 】 上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
碧海看護専門学校卒業生徒数	人	0.00 38.00	35.00 43.00	35.00 0.00
看護師国家試験合格率	%	0.00 92.10	88.30 97.70	100.00 0.00

【 定性評価 】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性	国・県・民間等がサービスを行っていない 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	2
理由	県も補助を実施しています。		
2	必要性	市民ニーズの有無 市民ニーズは充分にある 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している 市民ニーズはない又は不明である	1
理由	少子高齢化の進展に伴い市民ニーズは高いです。		
3	有効性	目標に対する進捗状況 目標を上回る又は目標どおりの進捗である 目標を下回る進捗状況である 進捗はかなり遅れている	1
理由	目標どおりの進捗です。		
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	2
理由	事務改善に取り組んでいます。		
5	公平性	事業規模・サービス水準 環境変化や他自治体等と比較して適正である。 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	1
理由	適正に実施しています。		

【 1 次評価結果 】

事業の方向性	維持・継続
1 次コメント (4 0 0 文字)	救急医療事業については、救急患者受け入れ体制整備により、救急患者を受け入れることができています。高度医療機器等整備事業については、高度な医療体制整備及び高度医療機器の導入により、検査・手術時間の短縮や診断技術の向上につながり、救急医療体制がより一層充実し、市民へのサービス向上を図ることができています。 看護師養成補助事業については、看護専門学校において看護師を養成し、卒業生の看護師国家試験合格率は全国平均を上回っており、地域医療機関の看護師不足の解消に寄与することができています。 今後も地域医療体制の充実のため、事業効果を確認し、必要性を検証しながら取り組んでいく必要があります。

【 2 次評価結果 】

事業の方向性	評価未実施
2 次コメント (4 0 0 文字)	本事業においては、2 次評価を実施していません。

事務事業評価シート（ 1 / 2 ）

5 頁
令和 8 年 8 月 12 日
15 時 04 分 54 秒

評価年度 令和 7 年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001233010 健康推進課健康推進係
事務事業 02635 保健衛生推進補助事業

電話番号 0566-76-1133

【基本情報】

計画回数	03	第 9 次安城市総合計画			
重点戦略	002	ちから			
分野別	005	9 健康・医療			
施策の取組	001	9 健康・医療 その他			
事務事業	003	保健衛生推進補助事業			
事業期間	平成元年度 ～				
実施方法	直営				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
重点戦略	ちから	マニフェスト			
根拠法令等	安城市口腔衛生事業補助金交付要綱、食品衛生協会衛生活動事業補助金交付要綱				
備考					

【事業分析】

対象	市民が
目的	口腔衛生や食品衛生の向上により、健康で健やかな生活を送ることができるようになります。
手段	口腔衛生の推進を図るため一般社団法人安城市歯科医師会が行う活動と、食品衛生の推進を図るために愛知県食品衛生協会安城支部が行う活動に対し、補助金を交付します。
事務内容	口腔衛生事業補助金及び食品衛生協会衛生活動事業補助金を交付します。

【コスト】

（単位：千円）

	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
	決算額	決算額	予算額
トータルコスト	3,263	2,602	5,645
事業費	1,923	1,872	2,360
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	1,923	1,872	2,360
人件費計	1,340	730	3,285
正規（人）	0.20	0.10	0.45
その他経費	0	0	0

	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
【事務事業活動実績】	補助金の交付 ・口腔衛生事業補助金 （安城市歯科医師会） ・衛生活動事業補助金 （愛知県食品衛生協会 安城支部）	補助金の交付 ・口腔衛生事業補助金 （安城市歯科医師会） ・衛生活動事業補助金 （愛知県食品衛生協会 安城支部）	補助金の交付 ・口腔衛生事業補助金 （安城市歯科医師会） ・衛生活動事業補助金 （愛知県食品衛生協会 安城支部）

事務事業評価シート（ 2 / 2 ）

6 頁

令和 8 年 8 月 12 日
15 時 04 分 54 秒

評価年度 令和 7 年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001233010 健康推進課健康推進係
事務事業 02635 保健衛生推進補助事業

【 定量評価 】 上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
2 歳児歯科健診とフッ化物塗布の開催回数	回	0.00	4.00	4.00
		4.00	4.00	0.00
食品衛生責任者講習会（再講習会・養成講習会）の開催回数	回	0.00	2.00	2.00
		4.00	4.00	0.00

【 定性評価 】

	カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性	国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
			2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
			3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
	理由	他の実施主体では実施していません。		
2	必要性	市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
			2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
			3 市民ニーズはない又は不明である	
	理由	口腔衛生、食品衛生ともに市民ニーズがあります。		
3	有効性	目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
			2 目標を下回る進捗状況である	
			3 進捗はかなり遅れている	
	理由	目標どおりの実施回数です。		
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
			2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
			3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
	理由	事務改善に取り組んでいます。		
5	公平性	事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
			2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
			3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
	理由	適正に実施しています。		

【 1 次評価結果 】

事業の方向性	維持・継続
1 次コメント (4 0 0 文字)	口腔衛生事業については、2 歳児歯科健診及びフッ化物塗布を実施し、1 . 6 歳児から 3 歳児歯科健診のフォローアップに寄与することができています。また、8 0 2 0 表彰によって、高齢者の健康づくりの励みとなり、健康寿命の延伸への効果が期待できます。 食品衛生協会衛生活動事業については、会員に対する講習会や夏季巡回の実施により、食中毒予防と食品衛生の知識普及につなげることができています。 今後も補助事業を実施し、事業効果を確認し、必要性を検証しながら取り組んでいく必要があります。

【 2 次評価結果 】

事業の方向性	評価未実施
2 次コメント (4 0 0 文字)	本事業においては、2 次評価を実施していません。

事務事業評価シート（ 1 / 2 ）

7 頁

令和 8年 8月12日
15時04分54秒

評価年度 令和 7年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001233010 健康推進課健康推進係
事務事業 02636 献血推進事業

電話番号 0566-76-1133

【基本情報】

計画回数	03	第 9 次安城市総合計画			
重点戦略	002	ちから			
分野別	005	9 健康・医療			
施策の取組	001	9 健康・医療 その他			
事務事業	001	献血推進事業			
事業期間	昭和41年度 ~				
実施方法	一部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
重点戦略	ちから	マニフェスト			
根拠法令等	安全な血液製剤の安定供給等の確保等に関する法律				
備考					

【事業分析】

対象	輸血を必要とする人が
目的	安全な血液を安定した供給で受けることができますようになります。
手段	安城市献血推進協議会が愛知県赤十字血液センターと協力して、市内の企業や団体での献血活動を推進し、円滑な輸血用血液の確保を図ります。
事務内容	献血の推進に関する事務を行います。

【コスト】

（単位：千円）

	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額
トータルコスト	2,850	3,360	3,520
事業費	840	1,170	1,330
国庫支出金	0	0	0
県支出金	199	277	315
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	641	893	1,015
人件費計	2,010	2,190	2,190
正規（人）	0.30	0.30	0.30
その他経費	0	0	0

	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
【事務事業活動実績】	献血実施会場 延81会場 二十歳を祝う会、市公式ライン等にて啓発 骨髄提供者等助成事業 ドナー1人 事業所0件	献血実施会場 延91会場 二十歳を祝う会、市公式ライン等にて啓発 骨髄提供者等助成事業 ドナー3人 事業所1件	献血予定会場 延45会場 二十歳を祝う会、市公式ライン等にて啓発 骨髄提供者等助成事業 ドナー3人（見込み） 事業所3件（見込み）

事務事業評価シート（ 2 / 2 ）

8 頁

令和 8 年 8 月 12 日
15 時 04 分 54 秒

評価年度 令和 7 年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001233010 健康推進課健康推進係
事務事業 02636 献血推進事業

【 定量評価 】 上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
献血者数	人	0.00 2,773.00	3,101.00 2,986.00	3,044.00 0.00

【 定性評価 】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性	国・県・民間等がサービスを行っていない 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	2
理由	赤十字血液センターと協力して事業を実施しています。		
2	必要性	市民ニーズの有無 市民ニーズは充分にある 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している 市民ニーズはない又は不明である	1
理由	輸血を必要とする患者にとっては必要です。		
3	有効性	目標に対する進捗状況 目標を上回る又は目標どおりの進捗である 目標を下回る進捗状況である 進捗はかなり遅れている	2
理由	献血者数に占める若年層の割合が低く、更なる啓発が必要です。		
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	2
理由	事務改善に取り組んでいます。		
5	公平性	事業規模・サービス水準 環境変化や他自治体等と比較して適正である。 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	1
理由	適正に実施しています。		

【 1 次評価結果 】

事業の方向性	維持・継続
1 次コメント (4 0 0 文字)	自然災害及び高齢化に伴い、輸血の需要が拡大しており、輸血用血液の安定的な確保が必要です。 令和 7 年度は、啓発活動として、市の広報や公式ウェブサイトでの発信、ラインの配信、商工会議所のメルマガ配信、安城市二十歳を祝う会での啓発などを実施しましたが、目標値を達成することはできませんでした。 今後とも赤十字血液センターと協力しながら、特に若年層が献血に協力をいただけるよう啓発活動をし、献血推進に努めていきます。

【 2 次評価結果 】

事業の方向性	評価未実施
2 次コメント (4 0 0 文字)	本事業においては、2 次評価を実施していません。

事務事業評価シート（１／２）

9 頁
令和 8年 8月12日
15時04分54秒

評価年度 令和 7年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001233010 健康推進課健康推進係
事務事業 02637 休日夜間急病診療事業

電話番号 0566-76-1133

【基本情報】

計画回数	03	第 9 次安城市総合計画			
重点戦略	002	ちから			
分野別	005	9 健康・医療			
施策の取組	005	地域医療体制の充実			
事務事業	003	休日夜間急病診療事業			
事業期間	昭和52年度 ～				
実施方法	直営				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
重点戦略	ちから	マニフェスト			
根拠法令等	安城市休日夜間急病診療所の設置及び管理に関する条例、規則				
備考					

【事業分析】

対象	急病の市民が
目的	休日及び夜間に応急診療（内科・小児科・歯科）が受けられるようになります。
手段	休日及び夜間に急病人が発生した場合、その応急診療を行うため、医師会・歯科医師会・薬剤師会の協力のもとに診療を行います。
事務内容	休日夜間急病診療所の管理運営を行います。 内科及び小児科の診療時間は、平日夜間（午後8時30分～午後10時）、土曜夜間（午後5時30分～午後9時30分）、休日及び年末年始（午前9時～正午、午後1時～午後5時、午後5時30分～午後9時30分）です。歯科の診療時間は、休日（午前9時～正午、午後1時～午後5時）です。

【コスト】

（単位：千円）

	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額
トータルコスト	92,048	97,924	128,149
事業費	85,348	90,040	113,549
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	53,072	73,861	89,764
一般財源	32,276	16,179	23,785
人件費計	6,700	7,884	14,600
正規（人）	1.00	1.08	2.00
その他経費	0	0	0

	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
【事務事業活動実績】	平日夜間診療：243日 土曜日診療：50日 休日診療：72日 （日曜・祝日・年末年始）	平日夜間診療：243日 土曜日診療：50日 休日診療：72日 （日曜・祝日・年末年始）	平日夜間診療：243日 土曜日診療：50日 休日診療：72日 （日曜・祝日・年末年始）

事務事業評価シート（ 2 / 2 ）

評価年度 令和 7 年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001233010 健康推進課健康推進係
事務事業 02637 休日夜間急病診療事業

【 定量評価 】 上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
診療所開設日数（年間）	日	0.00 365.00	365.00 365.00	365.00 0.00

【 定性評価 】

	カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性	国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	2
			2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
			3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由		1次救急医療機関として実施しています。		
2	必要性	市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
			2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
			3 市民ニーズはない又は不明である	
理由		1次救急医療機関として必要です。		
3	有効性	目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
			2 目標を下回る進捗状況である	
			3 進捗はかなり遅れている	
理由		目標を達成しています。		
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
			2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
			3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由		事務改善に取り組んでいます。		
5	公平性	事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
			2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
			3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由		適正に実施しています。		

【 1 次評価結果 】

事業の方向性	維持・継続
1 次コメント （ 4 0 0 文字 ）	1 次救急医療としての機能を果たしており、2 次・3 次救急医療機関への軽症患者の集中を防ぎ、市民の医療受診適正化に寄与しています。 令和 7 年度は、初冬からインフルエンザの流行が拡大したため、医師会等と連携し、急増したインフルエンザの患者に対応しました。 1 次救急医療としての役割を担うため、より一層市民への周知を図るとともに、感染症の発生動向に応じて、円滑に対応できるよう体制の整備に取り組んで行くことが重要です。

【 2 次評価結果 】

事業の方向性	評価未実施
2 次コメント （ 4 0 0 文字 ）	本事業においては、2 次評価を実施していません。

事務事業評価シート（ 1 / 2 ）

11 頁
令和 8年 8月12日
15時04分54秒

評価年度 令和 7年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001233010 健康推進課健康推進係
事務事業 02638 保健センター施設管理事業 電話番号 0566-76-1133

【基本情報】

計画回数	03	第 9 次安城市総合計画			
重点戦略	002	ちから			
分野別	005	9 健康・医療			
施策の取組	003	継続的な健康づくりのできる体制整備			
事務事業	001	保健センター施設管理事業			
事業期間	昭和62年度 ～				
実施方法	一部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
重点戦略	ちから	マニフェスト			
根拠法令等	地域保健法、安城市保健センターの設置及び管理に関する条例、規則				
備考					

【事業分析】

対象	保健センター利用者が
目的	安全かつ快適にサービスを受けることができますようになります。
手段	保健センターの利用者が、安全かつ快適にサービスを受けることができるよう、必要に応じて管理業務の外部委託をし、施設を適切に維持管理し、提供します。
事務内容	保健センターの管理運営を行います。

【コスト】

（単位：千円）

		令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
		決算額	決算額	予算額
トータルコスト		42,777	44,576	51,149
事業費		39,427	40,926	47,499
	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	296	304	360
	一般財源	39,131	40,622	47,139
人件費計		3,350	3,650	3,650
	正規（人）	0.50	0.50	0.50
その他経費		0	0	0

	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
【事務事業活動実績】	・清掃業務委託 ・各種設備保守点検業務委託 ・駐車場賃貸借 ・必要に応じて修繕の実施	・清掃業務委託 ・各種設備保守点検業務委託 ・駐車場賃貸借 ・必要に応じて修繕の実施	・清掃業務委託 ・各種設備保守点検業務委託 ・駐車場賃貸借 ・必要に応じて修繕の実施

事務事業評価シート（ 2 / 2 ）

評価年度 令和 7 年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001233010 健康推進課健康推進係
事務事業 02638 保健センター施設管理事業

【 定量評価 】 上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
事故件数	件	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
苦情件数	件	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00

【 定性評価 】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性	国・県・民間等がサービスを行っていない 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	1
理由	法に基づく取り組みであって、他の実施主体は実施していません。		
2	必要性	市民ニーズの有無 市民ニーズは充分にある 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している 市民ニーズはない又は不明である	1
理由	地域保健に必要な事業を実施しています。		
3	有効性	目標に対する進捗状況 目標を上回る又は目標どおりの進捗である 目標を下回る進捗状況である 進捗はかなり遅れている	1
理由	目標を達成しています。		
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	2
理由	事務改善に取り組んでいます。		
5	公平性	事業規模・サービス水準 環境変化や他自治体等と比較して適正である。 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	1
理由	適正に実施しています。		

【 1 次評価結果 】

事業の方向性	維持・継続
1 次コメント (4 0 0 文字)	令和 7 年度はトイレ等の修繕を行いました。他にも不具合が発生している箇所があり、計画的な修繕管理等が必要です。今後も安全かつ快適にサービスが提供できるよう、必要に応じて管理業務の外部委託を行うなど、適切に管理運営をしていきます。

【 2 次評価結果 】

事業の方向性	評価未実施
2 次コメント (4 0 0 文字)	本事業においては、2 次評価を実施していません。

事務事業評価シート（ 1 / 2 ）

評価年度 令和 7 年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001233010 健康推進課健康推進係
事務事業 02639 防災医薬品供給事業

電話番号 0566-76-1133

【基本情報】

計画回数	03	第 9 次安城市総合計画			
重点戦略	003	ばしょ			
分野別	003	1 4 防災・減災			
施策の取組	002	災害時の対応・連携強化			
事務事業	009	防災医薬品供給事業			
事業期間	平成16年度 ~				
実施方法	直営				
会計区分	一般会計	事業区分	義務的 / 政策的	性質別費目	
重点戦略	ばしょ	マニフェスト			
根拠法令等	災害対策基本法、地域防災計画				
備考					

【事業分析】

対象	災害発生時における負傷者が
目的	市内各地区において迅速な手当てを受けることができますようになります。
手段	災害時における救護体制の一部として市内 5 箇所の医療救護所（東山中学校・安城北中学校・安城南中学校・桜井中学校・明祥プラザ）に防災用備蓄医薬品を配置しています。
事務内容	期限切れの医薬品等の更新、薬品庫整備及び管理、医療救護訓練を行います。

【コスト】

（単位：千円）

	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
	決算額	決算額	予算額
トータルコスト	6,500	5,102	6,853
事業費	2,882	1,306	3,057
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	2,882	1,306	3,057
人件費計	3,618	3,796	3,796
正規（人）	0.54	0.52	0.52
その他経費	0	0	0

	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
【事務事業活動実績】	・ 期限切れの医薬品の 発注：48 品目 ・ 追加品目の発注 ・ 配置箇所の医薬品交 換（5 箇所）	・ 期限切れの医薬品の 発注 ・ 追加品目の発注 ・ 配置箇所の医薬品交 換（5 箇所）	・ 期限切れの医薬品の 発注 ・ 追加品目の発注 ・ 配置箇所の医薬品交 換（5 箇所）

事務事業評価シート（ 2 / 2 ）

14 頁
令和 8年 8月12日
15時04分54秒

評価年度 令和 7年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001233010 健康推進課健康推進係
事務事業 02639 防災医薬品供給事業

【 定量評価 】 上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
災害時の医薬品等設置率	%	0.00 100.00	100.00 100.00	100.00 0.00

【 定性評価 】

	カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性	国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
			2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
			3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	他の実施主体では実施していません。			
2	必要性	市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
			2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
			3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	地域防災計画に則って実施しています。			
3	有効性	目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
			2 目標を下回る進捗状況である	
			3 進捗はかなり遅れている	
理由	目標どおり実施しました。			
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
			2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
			3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	事務改善に取り組んでいます。			
5	公平性	事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
			2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
			3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	適正に実施しています。			

【 1 次評価結果 】

事業の方向性	維持・継続
1 次コメント (4 0 0 文字)	災害対策基本法に基づき実施している事業であり、災害発生時に、医療救護所において市民に迅速な手当てが提供できるように、引き続き適切に薬品庫の整備及び備蓄医薬品の管理を行う必要があります。 近年は、全国的な医薬品等の供給不足により、入手困難な状況が続いており、今後も供給が不安定な状況が継続すると考えられます。そのため、医師会、歯科医師会、薬剤師会の意見や、他市の医薬品の備蓄状況等を参考にしながら、備蓄医薬品の整備や医療救護所の運営の見直しを図っていく必要があります。

【 2 次評価結果 】

事業の方向性	評価未実施
2 次コメント (4 0 0 文字)	本事業においては、2 次評価を実施していません。

事務事業評価シート（ 1 / 2 ）

15 頁
令和 8年 8月12日
15時04分54秒

評価年度 令和 7年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001233010 健康推進課健康推進係
事務事業 02640 健康づくり環境整備事業 電話番号 0566-76-1133

【基本情報】

計画回数	03	第 9 次安城市総合計画			
重点戦略	002	ちから			
分野別	005	9 健康・医療			
施策の取組	002	健康づくりの機会の拡充			
事務事業	001	健康づくり環境整備事業			
事業期間	平成28年度 ～				
実施方法	直営				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
重点戦略	ちから	マニフェスト			
根拠法令等	健康増進法、食育基本法				
備考	平成28年度の事務事業の見直しにより、平成29年度から以下の事業を統合しています。 ・健康づくりボランティア養成・育成事業 ・健康づくり環境整備事業 ・健康づくりサポーター活動支援事業 ・あんじょう健康マイレージ事業				

【事業分析】

対象	市民一人一人が
目的	健康づくりに関心を持ち、自主的に健康づくりを始められるようになります。
手段	知りたくなる機会、参加したくなる機会の創出として健康づくりのきっかけとなるイベントを実施します。また、自主的な健康づくりをサポートする身近な存在を増やすため、食育メイト等の市民ボランティア等を養成、支援します。すぐに始めることができる健康づくりや健康づくり関連イベントへの参加にインセンティブを付けます。
事務内容	あんじょう健康マイレージ事業、健康づくりきっかけ教室、あんじょう健康大学、健康づくりボランティア（食育メイト等）養成・育成事業、健康づくりサポーター活動支援事業等を行います。

【コスト】

（単位：千円）

		令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
		決算額	決算額	予算額
トータルコスト		11,688	14,132	23,895
事業費		7,132	6,832	10,755
	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	553	471	846
	地方債	0	0	0
	その他	25	23	32
	一般財源	6,554	6,338	9,877
人件費計		4,556	7,300	13,140
	正規（人）	0.68	1.00	1.80
その他経費		0	0	0

	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
【事務事業活動実績】	・あんじょう健康マイレージ事業及び健康づくりきっかけ教室、あんじょう健康大学を実施。	・あんじょう健康マイレージ事業及び健康づくりきっかけ教室、あんじょう健康大学を実施。	・あんじょう健康マイレージ事業及び健康づくりきっかけ教室、あんじょう健康大学を実施。

事務事業評価シート（ 2 / 2 ）

16 頁
令和 8 年 8 月 12 日
15 時 04 分 54 秒

評価年度 令和 7 年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001233010 健康推進課健康推進係
事務事業 02640 健康づくり環境整備事業

【 定量評価 】 上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
あんじょう健康マイレージ事業ポイント達成者数	人	0.00 1,074.00	1,206.00 897.00	1,218.00 0.00

【 定性評価 】

	カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性	国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	2
			2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
			3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由		健康日本２１安城計画に基づき実施しています。		
2	必要性	市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
			2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
			3 市民ニーズはない又は不明である	
理由		健康に対する市民の意識は高く、市民ニーズは充分にあります。		
3	有効性	目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	2
			2 目標を下回る進捗状況である	
			3 進捗はかなり遅れている	
理由		達成者数が減少しており、PRの工夫が必要です。		
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
			2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
			3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由		事務改善に取り組んでいます。		
5	公平性	事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
			2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
			3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由		適正に実施しています。		

【 1 次評価結果 】

事業の方向性	維持・継続
1 次コメント (4 0 0 文字)	高齢化の進展に伴い、医療や介護の費用負担が増大しています。健康を維持・増進するための健康づくりを、多くの市民に取り組んでもらうことは重要な課題です。そのため、若い頃から健康づくりに関心を持ち、取り組んでいくことが大切です。 あんじょう健康マイレージ事業では、令和 2 年度からスマートフォンアプリを活用することで、若い世代が参加しやすくなりました。引き続きアプリの活用を P R しながら、各世代の方が参加しやすくなるよう周知していきます。

【 2 次評価結果 】

事業の方向性	評価未実施
2 次コメント (4 0 0 文字)	本事業においては、2 次評価を実施していません。

事務事業評価シート（ 1 / 2 ）

1 頁

令和 8 年 8 月 12 日
15 時 05 分 03 秒

評価年度 令和 7 年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001233015 健康推進課予防係
事務事業 02642 予防接種事業

電話番号 0566-76-1133

【基本情報】

計画回数	03	第 9 次安城市総合計画			
重点戦略	002	ちから			
分野別	005	9 健康・医療			
施策の取組	004	健康管理の支援			
事務事業	001	予防接種事業			
事業期間	平成元年度 ~				
実施方法	一部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	義務的 / 政策的	性質別費目	
重点戦略	ちから	マニフェスト	○		
根拠法令等	予防接種法				
備考					

【事業分析】

対象	市民が
目的	予防接種を受けることにより、地域の各疾病の発生及び蔓延予防になるとともに個人の感染症予防となります。
手段	予防接種法に基づく、定期の予防接種と任意の予防接種を実施しています。 安城市医師会の協力のもとに、接種は個別接種にて実施しています。
事務内容	定期の予防接種（ロタウイルス、H i b、小児の肺炎球菌、B 型肝炎、五・四・三・二種混合、ポリオ、B C G、麻しん風しん混合、麻しん、風しん、水痘、日本脳炎、ヒトパピローマウイルス、高齢者の肺炎球菌、季節性インフルエンザ、新型コロナウイルス、带状疱疹）、任意の予防接種は一部費用助成の対象（子どもインフルエ ンザ、妊婦等に関わる風しん、おたふくかぜ、带状疱疹）

【コスト】

（単位：千円）

	令和 6 年度			令和 7 年度	令和 8 年度
	決算額			決算額	予算額
トータルコスト	894,061			784,395	983,803
事業費	870,075			747,676	934,528
国庫支出金	28,349			13,787	15,000
県支出金	73			54	212
地方債	0			0	0
その他	35,690			42,504	1
一般財源	805,963			691,331	919,315
人件費計	23,986			36,719	49,275
正規（人）	3.58			5.03	6.75
その他経費	0			0	0

	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
【事務事業活動実績】	定期予防接種の実施、健康被害救済制度の実施、任意予防接種費用助成の実施、職員の B 型肝炎抗体検査・予防接種の実施	定期予防接種の実施、健康被害救済制度の実施、任意予防接種費用助成の実施、職員の B 型肝炎抗体検査・予防接種の実施	定期予防接種の実施、健康被害救済制度の実施、任意予防接種費用助成の実施、職員の B 型肝炎抗体検査・予防接種の実施

事務事業評価シート（ 2 / 2 ）

2 頁

令和 8 年 8 月 12 日
15 時 05 分 03 秒

評価年度 令和 7 年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001233015 健康推進課予防係
事務事業 02642 予防接種事業

【定量評価】 上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
M R (麻疹・風疹混合ワクチン) 2 期接種率	%	0.00 83.30	95.00 88.10	95.00 0.00
B C G 接種率	%	0.00 93.80	95.00 91.00	95.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性	国・県・民間等がサービスを行っていない 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	1
理由	国・県・民間等に同様のサービスはありません。		
2	必要性	市民ニーズの有無 市民ニーズは充分にある 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している 市民ニーズはない又は不明である	1
理由	感染症予防のため市民ニーズは十分にあります。		
3	有効性	目標に対する進捗状況 目標を上回る又は目標どおりの進捗である 目標を下回る進捗状況である 進捗はかなり遅れている	2
理由	ワクチン出荷量調整の影響や保護者の意識の変化が考えられます。		
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	2
理由	申請手続き方法に ICT を活用するなど改善に取り組んでいます。		
5	公平性	事業規模・サービス水準 環境変化や他自治体等と比較して適正である。 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	1
理由	他自治体等と比較して適正です。		

【1 次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1 次コメント (4 0 0 文字)	令和 7 年 4 月より带状疱疹予防接種が定期接種になるなど、近年、毎年、予防接種法の改正がありますが、適切な予防接種の実施に向けて取り組んでいます。国が進める予防接種のデータ標準化への移行作業及び予防接種事務デジタル化導入への準備を進めています。 定期接種の接種率向上のため、市内医療機関だけでなく愛知県内や県外の医療機関でも接種できる体制があり、受けやすい環境が整えられていますが、ICT の活用に加え、乳幼児健診や就学時健診などの機会を活用し、引き続き、市民の予防接種の理解を深めるとともに接種勧奨をしていく必要があります。

【2 次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2 次コメント (4 0 0 文字)	本事業においては、2 次評価を実施していません。

事務事業評価シート（ 1 / 2 ）

評価年度 令和 7年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001233020 健康推進課健診係
事務事業 02643 健康診査事業

電話番号 0566-76-1133

【基本情報】

計画回数	03	第 9 次安城市総合計画			
重点戦略	002	ちから			
分野別	005	9 健康・医療			
施策の取組	004	健康管理の支援			
事務事業	003	健康診査事業			
事業期間	昭和58年度 ～				
実施方法	一部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	義務的 / 政策的	性質別費目	
重点戦略	ちから	マニフェスト			
根拠法令等	高齢者の医療の確保に関する法律、健康増進法ほか				
備考	健診後相談事業は、令和 3 年度より健康診査事業と予算を統合しました。				

【事業分析】

対象	市民が
目的	各種健診を受診することでがん、心臓病、脳卒中など生活習慣病の早期発見をすることやがん検診をはじめとする各種検診受診後の精密検査を早期に受診することにより早期治療が受けられるようになります。また、健診を機会に生活習慣を改善することで生活習慣病を未然に防ぐことができ、自身の健康管理に役立てることができま
手段	高齢者の医療確保に関する法律、健康増進法等に基づき特定健康診査及び各種がん検診、歯周病検診等を実施し
事務内容	特定健康診査、後期高齢者健康診査、市民ドック、市民健康診査、胃（X線・内視鏡）・大腸・肺・前立腺・乳がん・子宮頸がん検診、脳ドック、歯周病検診、ヤング健診、肝炎ウイルス検診 骨粗しょう症検診、各種検診受診後の精密検査の受診勧奨の実施

【コスト】

（単位：千円）

		令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
		決算額	決算額	予算額
トータルコスト		608,086	604,835	707,433
事業費	事業費	598,840	591,987	689,256
	国庫支出金	1,018	2,321	5,216
	県支出金	11,025	15,433	13,527
	地方債	0	0	0
	その他	180,305	178,786	202,121
	一般財源	406,492	395,447	468,392
	人件費計	9,246	12,848	18,177
	正規（人）	1.38	1.76	2.49
その他経費		0	0	0

	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
【事務事業活動実績】	特定健診など各種健康診査の実施 各種がん検診（胃・肺・大腸・乳・子宮・前立腺）の実施、歯周病検診の実施、各種がん検診等受診後の精密検査の受診勧奨	特定健診など各種健康診査の実施 各種がん検診（胃・肺・大腸・乳・子宮・前立腺）の実施、歯周病検診の実施、各種がん検診等受診後の精密検査の受診勧奨	特定健診など各種健康診査の実施 各種がん検診（胃・肺・大腸・乳・子宮・前立腺）の実施、歯周病検診の実施、各種がん検診等受診後の精密検査の受診勧奨

事務事業評価シート（ 2 / 2 ）

2 頁

令和 8 年 8 月 12 日
15 時 05 分 11 秒

評価年度 令和 7 年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001233020 健康推進課健診係
事務事業 02643 健康診査事業

【 定量評価 】 上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
胃がん検診受診率	%	0.00 9.60	13.20 9.10	13.20 0.00
特定健康診査受診率（ n-2 年度の受診率）	%	0.00 46.00	48.00 45.10	50.00 0.00
歯周病検診受診率（2 歳・30 歳）	%	0.00 11.50	13.70 10.10	13.70 0.00

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性	国・県・民間等がサービスを行っていない 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	1
理由	法律に基づいて市町村が行うものです。		
2	必要性	市民ニーズの有無 市民ニーズは充分にある 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している 市民ニーズはない又は不明である	1
理由	市民の健康増進のために必要な事業です。		
3	有効性	目標に対する進捗状況 目標を上回る又は目標どおりの進捗である 目標を下回る進捗状況である 進捗はかなり遅れている	2
理由	受診率が低下傾向にあるため、啓発の工夫が必要です。		
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	2
理由	国の提言を受け、検査項目の見直しや事務改善に取り組んでいます		
5	公平性	事業規模・サービス水準 環境変化や他自治体等と比較して適正である。 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	1
理由	国が示す指針に沿って実施しています。		

事業の方向性	維持・継続
1 次コメント (4 0 0 文字)	特定健康診査の受診率は45～46％代で推移しています。各がん検診については前年度と比較し、若干、受診率が低下しています。予防医療の大切さや受診率向上に向けて、効果的な啓発や受診勧奨に取り組んでいきます。

事業の方向性	評価未実施
2 次コメント (4 0 0 文字)	本事業においては、2 次評価を実施していません。

事務事業評価シート（ 1 / 2 ）

評価年度 令和 7年度 進捗区分 2 次評価

所属 0001233020 健康推進課健診係

事務事業 02645 生活習慣改善支援事業

電話番号 0566-76-1133

【基本情報】

計画回数	03	第 9 次安城市総合計画			
重点戦略	002	ちから			
分野別	005	9 健康・医療			
施策の取組	004	健康管理の支援			
事務事業	002	生活習慣改善支援事業			
事業期間	平成20年度 ~				
実施方法	一部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	義務的 / 政策的	性質別費目	
重点戦略	ちから	マニフェスト			
根拠法令等	高齢者の医療の確保に関する法律、健康増進法				
備考					

【事業分析】

対象	特定保健指導対象者（内臓脂肪症候群・予備軍、肥満）が
目的	生活習慣を改善できるようになります。
手段	高齢者の医療の確保に関する法律に基づき愛知県(安城市)国保年金課から特定保健指導事業の執行委任を受け実施するとともに、健康増進法に基づき医療保険無加入者への保健指導事業を実施します。メタボリックシンドロームの予防及び解消のため、対象者に、市内の医療機関や保健センターで特定保健指導（３～６ヶ月間）を実施します。また、未利用者に対し利用勧奨を実施します。
事務内容	特定保健指導、特定保健指導未利用者勧奨、重症化予防受診勧奨

【コスト】

（単位：千円）

	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額
トータルコスト	9,386	10,906	16,281
事業費	5,232	4,117	7,521
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	3,514	2,689	4,714
一般財源	1,718	1,428	2,807
人件費計	4,154	6,789	8,760
正規（人）	0.62	0.93	1.20
その他経費	0	0	0

	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	特定保健指導の実施 未利用者勧奨の実施	特定保健指導の実施 未利用者勧奨の実施	特定保健指導の実施 未利用者勧奨の実施
【事務事業活動実績】			

事務事業評価シート（ 2 / 2 ）

4 頁

令和 8年 8月12日
15時05分11秒

評価年度 令和 7年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001233020 健康推進課健診係
事務事業 02645 生活習慣改善支援事業

【 定量評価 】 上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
特定保健指導実施率（ n - 2 年）	%	0.00 17.60	20.00 13.00	22.00 0.00

【 定性評価 】

	カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性	国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
			2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
			3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由		安城市国保としてサービスを行っています。		
2	必要性	市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
			2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
			3 市民ニーズはない又は不明である	
理由		市民の健康増進のために必要な事業です。		
3	有効性	目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	2
			2 目標を下回る進捗状況である	
			3 進捗はかなり遅れている	
理由		実施率が低下しており、実施方法の更なる工夫が必要です。		
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
			2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
			3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由		事務改善に取り組んでいます。		
5	公平性	事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
			2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
			3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由		他自治体と同程度のサービスを提供しています。		

【 1 次評価結果 】

事業の方向性	維持・継続
1 次コメント (4 0 0 文字)	特定保健指導の実施率が低下しており、市民が利用しやすい方法や実施医療機関を増やすなど、引き続き改善に取り組んでいきます。

【 2 次評価結果 】

事業の方向性	評価未実施
2 次コメント (4 0 0 文字)	本事業においては、2 次評価を実施していません。

事務事業評価シート（ 1 / 2 ）

5 頁
令和 8 年 8 月 12 日
15 時 05 分 11 秒

評価年度 令和 7 年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001233020 健康推進課健診係
事務事業 02646 妊産婦・乳児個別健診事業

電話番号 0566-76-1133

【基本情報】

計画回数	03	第 9 次安城市総合計画			
重点戦略	001	しくみ			
分野別	001	1 子育て			
施策の取組	002	安心して生み育てられる環境の整備			
事務事業	008	妊産婦・乳児個別健診事業			
事業期間	平成 9 年度 ~				
実施方法	一部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	義務的 / 政策的	性質別費目	
重点戦略	しくみ	マニフェスト	○		
根拠法令等	母子保健法				
備考	平成 2 8 年度の事務事業の見直しにより、平成 2 9 年度から以下の事業を分割・統合しています。 ・乳幼児健診事業（分割） ・妊婦健診事業（統合）				

【事業分析】

対象	妊産婦と乳児が
目的	健診を受け、健康に過ごすことができるようになります。
手段	医療機関や助産所で実施される妊婦健康診査 1 4 回分、子宮頸がん検診 1 回分、産婦健康診査 2 回分、新生児聴覚検査 1 回分、乳児健康診査 2 回分を限度額範囲内で助成します。多胎妊婦には、5 回分の妊婦健診受診票を追加交付しています。妊婦歯科健診及びブラッシング指導、産婦歯科健康診査ケアを各 1 回無料で受けられます。
事務内容	妊婦・産婦・乳児個別健診委託・助成、妊産婦歯科健診委託

【コスト】

（単位：千円）

		令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
		決算額	決算額	予算額
トータルコスト		187,042	191,566	196,522
事業費		185,099	187,113	192,069
	国庫支出金	7,735	11,272	11,024
	県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	177,364	175,841	181,045
人件費計		1,943	4,453	4,453
	正規（人）	0.29	0.61	0.61
その他経費		0	0	0

	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
【事務事業活動実績】	妊婦健診14回 子宮頸がん検診1回 産婦健診2回 乳児健診2回 妊婦歯科健診1回 新生児聴覚検査1回 産婦歯科健診1回 多胎妊婦への妊婦健診 5 回追加交付	妊婦健診14回 子宮頸がん検診1回 産婦健診2回 乳児健診2回 妊婦歯科健診1回 新生児聴覚検査1回 産婦歯科健診1回 多胎妊婦への妊婦健診 5 回追加交付	妊婦健診14回 子宮頸がん検診1回 産婦健診2回 乳児健診2回 妊婦歯科健診1回 新生児聴覚検査1回 産婦歯科健診1回 多胎妊婦への妊婦健診 5 回追加交付

事務事業評価シート（ 2 / 2 ）

6 頁

令和 8 年 8 月 12 日
15 時 05 分 11 秒

評価年度 令和 7 年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001233020 健康推進課健診係
事務事業 02646 妊産婦・乳児個別健診事業

【定量評価】 上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
妊婦健診受診件数	件	0.00 18,124.00	17,134.00 18,239.00	16,800.00 0.00
妊婦歯科健診受診率	%	0.00 51.20	53.40 50.90	53.40 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性	国・県・民間等がサービスを行っていない 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	1
2	理由	法に基づいて市町村が行うものです。	
2	必要性	市民ニーズの有無 市民ニーズは充分にある 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している 市民ニーズはない又は不明である	1
3	理由	妊娠、出産、産後の母子の健康管理、経済的支援に必要です。	
3	有効性	目標に対する進捗状況 目標を上回る又は目標どおりの進捗である 目標を下回る進捗状況である 進捗はかなり遅れている	2
4	理由	妊婦歯科健診の受診率が低下しており、啓発の工夫が必要です	
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	1
5	理由	事務改善に取り組んでいます。	
5	公平性	事業規模・サービス水準 環境変化や他自治体等と比較して適正である。 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	1
	理由	他自治体と同程度のサービスを提供しています。	

【1 次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1 次コメント (4 0 0 文字)	妊娠・出産数が減少傾向にある中、経済的負担の軽減を図るとともに、妊婦が安心・安全に出産でき、産後も乳児と母親が健康に過ごすことができるよう、事業を継続していきます。

【2 次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2 次コメント (4 0 0 文字)	本事業においては、2 次評価を実施していません。

事務事業評価シート（ 1 / 2 ）

7 頁
令和 8 年 8 月 12 日
15 時 05 分 11 秒

評価年度 令和 7 年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001233020 健康推進課健診係
事務事業 02647 乳幼児集団健診事業

電話番号 0566-76-1133

【基本情報】

計画回数	03	第 9 次安城市総合計画			
重点戦略	002	ちから			
分野別	005	9 健康・医療			
施策の取組	004	健康管理の支援			
事務事業	004	乳幼児集団健診事業			
事業期間	昭和62年度 ~				
実施方法	一部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	義務的 / 政策的	性質別費目	
重点戦略	しくみ	マニフェスト	○		
根拠法令等	母子保健法				
備考	平成 2 8 年度の事務事業の見直しにより、平成 2 9 年度から以下の事業を分割・統合しています。 ・乳幼児健診事業（分割） ・乳幼児健診事後指導事業（統合）				

【事業分析】

対象	乳幼児とその保護者が
目的	異常の早期発見、育児不安の軽減、健康の保持増進ができるようになります。
手段	乳児期は 4 か月児健診（股関節検診含む）を実施、幼児期は身体・精神発達の両面から重要な時期である 1 歳 6 か月児・3 歳児に対し、医師・歯科医師等による総合的な健診を実施しています。結果は保護者と確認し、育児不安を軽減・解消できるよう支援し、虐待予防にも努めています。健診後は発達段階に合わせ適切な支援を行います。集団健診では未受診者への受診勧奨と状況把握を行っています。
事務内容	4 か月児健診、1 歳 6 か月児健診、3 歳児健診、発達心理相談、2 歳の発達確認アンケート、う蝕予防啓発の個人通知、乳幼児健診未受診者対策

【コスト】

（単位：千円）

		令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
		決算額	決算額	予算額
トータルコスト		50,618	56,745	66,142
事業費		30,853	30,319	38,475
	国庫支出金	0	100	0
	県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	219	211	268
	一般財源	30,634	30,008	38,207
人件費計		19,765	26,426	27,667
	正規（人）	2.95	3.62	3.79
その他経費		0	0	0

	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
【事務事業活動実績】	4 か月児健診実施 1,276 人 1 歳 6 か月児健診実施 1,394 人 3 歳児健診実施 1,450 人 2 歳アンケートの実施 394 人	4 か月児健診実施 1,296 人 1 歳 6 か月児健診実施 1,328 人 3 歳児健診実施 1,399 人 2 歳アンケートの実施 378 人	4 か月児健診実施 1 歳 6 か月児健診実施 3 歳児健診実施 2 歳アンケートの実施

事務事業評価シート（ 2 / 2 ）

8 頁

令和 8 年 8 月 12 日
15 時 05 分 11 秒

評価年度 令和 7 年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001233020 健康推進課健診係
事務事業 02647 乳幼児集団健診事業

【 定量評価 】 上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
1 歳 6 か月児健診受診率	%	0.00 98.70	97.50 100.50	97.00 0.00
3 歳児健診受診率	%	0.00 100.10	97.00 100.80	97.00 0.00
2 歳時の状況確認率	%	0.00 97.50	97.00 97.40	97.00 0.00

【 定性評価 】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性	国・県・民間等がサービスを行っていない 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	1
2	理由	法律の基づいて市が実施しています。	
2	必要性	市民ニーズの有無 市民ニーズは充分にある 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している 市民ニーズはない又は不明である	1
3	理由	高い受診率を維持しています。	
3	有効性	目標に対する進捗状況 目標を上回る又は目標どおりの進捗である 目標を下回る進捗状況である 進捗はかなり遅れている	1
4	理由	目標を上回る受診率を維持しています。	
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	2
5	理由	事務改善に取り組んでいます。	
5	公平性	事業規模・サービス水準 環境変化や他自治体等と比較して適正である。 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	1
	理由	他市の状況等を確認し、適宜取り入れています。	

【 1 次評価結果 】

事業の方向性	維持・継続
1 次コメント (4 0 0 文字)	本事業は、母子保健法に基づく健診であり、100%の対象者が受診できるよう、継続して受診勧奨を行います。 未受診の場合であっても、児を目視するなど状況確認に努めています。精神発達について継続した支援が必要な幼児とその保護者に対して、切れ目なく支援ができるよう、こども発達支援センターと連携して支援を行います。 また、保護者の育児不安が軽減できるよう、各専門職による相談を継続していきます。 令和 6 年度から関係課による「 5 歳児における支援体制を考える会」にて支援のあり方についての検討を進めており、引き続き検討を行います。

【 2 次評価結果 】

事業の方向性	評価未実施
2 次コメント (4 0 0 文字)	本事業においては、2 次評価を実施していません。

事務事業評価シート（ 1 / 2 ）

評価年度 令和 7 年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001233020 健康推進課健診係
事務事業 02648 不妊治療支援事業

電話番号 0566-76-1133

【基本情報】

計画回数	03	第 9 次安城市総合計画			
重点戦略	001	しくみ			
分野別	001	1 子育て			
施策の取組	002	安心して生み育てられる環境の整備			
事務事業	009	不妊治療支援事業			
事業期間	平成18年度 ~				
実施方法	直営				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
重点戦略	しくみ	マニフェスト			
根拠法令等	安城市一般不妊治療等助成金支給要綱、安城市生殖補助医療費助成金支給要綱、安城市不育症治療費等助成金支				
備考					

【事業分析】

対象	不妊治療等を受けている夫婦（同一世帯で事実上婚姻関係にある男女を含む）が
目的	治療費の経済的負担が軽減され、治療を受けやすくなります。
手段	不妊に悩んでいる夫婦（同一世帯で事実上婚姻関係にある男女を含む）に対し、経済的な負担を軽減するために、一般不妊治療費と生殖補助医療費の助成を行っています。
事務内容	不妊治療助成の実施、県費補助金申請（県から市に人工授精の自己負担額の 2 分の 1（上限 4 万 5 千円）の補助）は、令和 4 年度より廃止。令和 6 年度から生殖補助医療費助成を開始。令和 8 年度から不育症治療費等助成、生殖補助医療先進医療費補助を開始。

【コスト】

（単位：千円）

	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
	決算額	決算額	予算額
トータルコスト	21,568	36,774	42,007
事業費	20,429	30,277	35,510
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	3,000
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	20,429	30,277	32,510
人件費計	1,139	6,497	6,497
正規（人）	0.17	0.89	0.89
その他経費	0	0	0

	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
【事務事業活動実績】	一般不妊治療費等助成 実施 338 件 生殖補助医療費助成実 施 173 件	一般不妊治療費等助成 実施 325 件 生殖補助医療費助成実 施 340 件	一般不妊治療費等助成 実施 生殖補助医療費助成実 施 不育症治療費等助成実 施 生殖補助医療先進医療 費助成実施

事務事業評価シート（ 2 / 2 ）

10 頁
令和 8 年 8 月 12 日
15 時 05 分 11 秒

評価年度 令和 7 年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001233020 健康推進課健診係
事務事業 02648 不妊治療支援事業

【 定量評価 】 上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
一般不妊治療助成申請件数	件	0.00 338.00	350.00 325.00	350.00 0.00
生殖補助医療費助成申請件数	件	0.00 173.00	300.00 340.00	400.00 0.00

【 定性評価 】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性	国・県・民間等がサービスを行っていない 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	2
2	理由	治療の一部は保険適用です。	
2	必要性	市民ニーズの有無 市民ニーズは充分にある 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している 市民ニーズはない又は不明である	1
3	理由	晩婚化・晩産化などの社会背景から市民ニーズは十分あります。	
3	有効性	目標に対する進捗状況 目標を上回る又は目標どおりの進捗である 目標を下回る進捗状況である 進捗はかなり遅れている	1
4	理由	生殖補助医療への移行が早まりつつあり概ね目標どおりです。	
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	1
5	理由	オンライン申請の導入により、事務の効率化を図っています。	
5	公平性	事業規模・サービス水準 環境変化や他自治体等と比較して適正である。 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	1
	理由	他自治体と同程度のサービスを提供できています。	

【 1 次評価結果 】

事業の方向性	拡充
1 次コメント (4 0 0 文字)	本事業は少子化対策の一助として取り組んでいます。令和 4 年度に一部の治療費が保険適用となり、県の特定不妊治療の助成制度は廃止になりましたが、社会的背景から市民ニーズは高く、令和 6 年度から生殖補助医療費の助成を開始し、令和 8 年 4 月からは不育症治療費等の助成金、令和 8 年 1 0 月からは生殖補助医療先進医療費の助成を開始していきます。

【 2 次評価結果 】

事業の方向性	評価未実施
2 次コメント (4 0 0 文字)	本事業においては、2 次評価を実施していません。

事務事業評価シート（ 1 / 2 ）

1 頁

令和 8 年 8 月 12 日
15 時 05 分 21 秒

評価年度 令和 7 年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001233030 健康推進課保健指導係
事務事業 02649 健康知識普及事業

電話番号 0566-76-1133

【基本情報】

計画回数	03	第 9 次安城市総合計画			
重点戦略	002	ちから			
分野別	005	9 健康・医療			
施策の取組	001	9 健康・医療 その他			
事務事業	002	健康知識普及事業			
事業期間	昭和58年度 ~				
実施方法	一部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	義務的 / 政策的	性質別費目	
重点戦略	ちから	マニフェスト			
根拠法令等	健康増進法				
備考	平成 2 8 年度の事務事業の見直しにより、平成 2 9 年度から以下の事業を統合しています。 ・健康知識普及事業 ・健康手帳交付事業				

【事業分析】

対象	市民が
目的	健康づくりに関する正しい知識を得て、健康づくりの継続やきっかけが得られるようになります。
手段	【親がお手本！デンタル・ケア教室】年長児保護者への歯科保健講話【まちかど講座】各種団体への健康教育【家族のためのこころホッと相談】臨床心理士による家族などの相談【食生活改善普及事業】安城市食育健康づくりの会への委託【健康手帳交付】健康手帳の交付（データダウンロードへ順次移行）【栄養相談】食生活についての相談
事務内容	親がお手本！デンタル・ケア教室、まちかど講座、家族のためのこころホッと相談、食生活改善普及事業、健康手帳交付（データダウンロードへ順次移行）、栄養相談、成人保健相談

【コスト】

（単位：千円）

		令和 6 年度 決算額	令和 7 年度 決算額	令和 8 年度 予算額
トータルコスト		15,958	13,171	18,102
事業費	事業費	3,764	4,119	6,568
	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	365	422	561
	地方債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	3,399	3,697	6,007
	人件費計	12,194	9,052	11,534
	正規（人）	1.82	1.24	1.58
その他経費		0	0	0

	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
【事務事業活動実績】	【デンタルケア】 961人 【まちかど講座】 443人 【食生活改善普及事業】 25回 【健康手帳交付】 17人	【デンタルケア】 1,069人 【まちかど講座】 225人 【食生活改善普及事業】 26回 【健康手帳交付】 9人	【デンタルケア】 1,000人 【まちかど講座】 500人 【食生活改善普及事業】 26回 【健康手帳交付】 5人

事務事業評価シート（ 2 / 2 ）

2 頁

令和 8 年 8 月 12 日
15 時 05 分 21 秒

評価年度 令和 7 年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001233030 健康推進課保健指導係
事務事業 02649 健康知識普及事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
食生活普及事業開催回数	回	0.00 25.00	26.00 26.00	26.00 0.00
デンタルケア教室の参加人数	人	0.00 2,044.00	2,100.00 2,234.00	2,100.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性	国・県・民間等との補完性 1 国・県・民間等がサービスを行っていない 2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある 3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	2
2	理由	健康に関する正しい知識を得られる機会の提供が必要です。	
2	必要性	市民ニーズの有無 1 市民ニーズは充分にある 2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している 3 市民ニーズはない又は不明である	1
3	理由	身近な健康問題に関する正しい知識の習得ニーズがあります。	
3	有効性	目標に対する進捗状況 1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である 2 目標を下回る進捗状況である 3 進捗はかなり遅れている	1
4	理由	目標どおりの進捗です。	
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減 1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている 2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる 3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	1
5	理由	未実施園への積極的な勧奨など事務改善が効果に繋がっています。	
5	公平性	事業規模・サービス水準 1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。 2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。 3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	1
	理由	適正に実施しています。	

【1 次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1 次コメント (4 0 0 文字)	栄養相談は、希望者数の伸び悩みのため、実施方法の見直しを図り実施しました。デンタルケア教室では、未実施園に対し積極的に働きかけ、より多くの園で実施ができるよう引き続き取り組んでいきます。 市民の様々なニーズに対応するため、引き続き、生活習慣病予防につながる知識の普及と個人の生活習慣の見直しができる機会を設けていきます。

【2 次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2 次コメント (4 0 0 文字)	本事業においては、2 次評価を実施していません。

事務事業評価シート（ 1 / 2 ）

3 頁

令和 8 年 8 月 12 日
15 時 05 分 21 秒

評価年度 令和 7 年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001233030 健康推進課保健指導係
事務事業 02650 介護予防普及啓発事業

電話番号 0566-76-1133

【基本情報】

計画回数	03	第 9 次安城市総合計画			
重点戦略	001	しくみ			
分野別	003	3 福祉			
施策の取組	001	3 福祉 その他			
事務事業	001	介護予防普及啓発事業			
事業期間	平成 29 年度 ~				
実施方法	直営				
会計区分	介護保険特会	事業区分	義務的 / 政策的	性質別費目	
重点戦略	ちから	マニフェスト			
根拠法令等	介護保険法				
備考					

【事業分析】

対象	要介護状態にない 65 歳以上の市民が
目的	自らの健康の保持増進や身体機能の低下から「要介護状態」になることを予防するため、正しい知識を得ることができるようになります。
手段	【まちかど講座】老人クラブ等へ保健師、管理栄養士、歯科衛生士を派遣し、健康講話を実施します。 【8020 歯科健康診査・表彰式】80 歳になる方へ 8020 歯科健康診査の個別通知をし、8020 歯の表彰式の周知をします。
事務内容	まちかど講座、8020 歯科健康診査・表彰式（安城市歯科医師会主催・安城市後援事業）

【コスト】

（単位：千円）

	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
	決算額	決算額	予算額
トータルコスト	2,059	24,056	21,395
事業費	920	2,302	1,977
国庫支出金	129	339	328
県支出金	81	213	205
地方債	0	0	0
その他	530	1,212	984
一般財源	180	538	460
人件費計	1,139	21,754	19,418
正規（人）	0.17	2.98	2.66
その他経費	0	0	0

	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
【事務事業活動実績】	老人クラブ等健康教育 受講者数 2,306 人 自主活動支援団体数 6 団体 8020 達成者数 280 人	老人クラブ等健康教育 受講者数 2,714 人 8020 達成者数 268 人	老人クラブ等健康教育 受講者数 2,500 人 8020 達成者数 270 人

事務事業評価シート（ 2 / 2 ）

評価年度 令和 7年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001233030 健康推進課保健指導係
事務事業 02650 介護予防普及啓発事業

【 定量評価 】 上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
まちかど講座受講者数	人	0.00 2,306.00	2,300.00 2,714.00	2,500.00 0.00

【 定性評価 】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性	国・県・民間等との補完性	2
		1 国・県・民間等がサービスを行っていない	
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
	理由	介護予防に関する正しい知識を得られる機会の提供が必要です。	
2	必要性	市民ニーズの有無	1
		1 市民ニーズは充分にある	
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
	理由	高齢化の進行に伴い、市民ニーズが十分にあります	
3	有効性	目標に対する進捗状況	1
		1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
	理由	目標を上回る進捗です。	
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減	2
		1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
	理由	事務改善に取り組んでいます	
5	公平性	事業規模・サービス水準	1
		1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
	理由	適正に実施しています。	

【 1 次評価結果 】

事業の方向性	維持・継続
1 次コメント (4 0 0 文字)	高齢化社会の進展に伴い介護予防事業を継続し展開することが重要です。高齢福祉課、国保年金課、社会福祉協議会とも連携し、より効果的な取り組みとなるようにしていく必要があります。

【 2 次評価結果 】

事業の方向性	評価未実施
2 次コメント (4 0 0 文字)	本事業においては、2 次評価を実施していません。

事務事業評価シート（ 1 / 2 ）

5 頁

令和 8 年 8 月 12 日
15 時 05 分 21 秒

評価年度 令和 7 年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001233030 健康推進課保健指導係
事務事業 02651 母子保健相談支援事業

電話番号 0566-76-1133

【基本情報】

計画回数	03	第 9 次安城市総合計画			
重点戦略	001	しくみ			
分野別	001	1 子育て			
施策の取組	001	1 子育て その他			
事務事業	007	母子保健相談支援事業			
事業期間	平成元年度 ～				
実施方法	一部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	義務的 / 政策的	性質別費目	
重点戦略	しくみ	マニフェスト			
根拠法令等	母子保健法、児童福祉法、子ども・子育て支援法				
備考	平成 2 8 年度の事務事業の見直しにより、平成 2 9 年度から以下の事業を統合しています。 ・ 妊婦相談指導事業 ・ 育児相談指導事業 ・ 妊婦交流事業				

【事業分析】

対象	妊産婦、乳幼児の保護者及び支援者が
目的	相談や交流を通じて、妊娠・出産・育児への不安を軽減できるようになります。
手段	【母子健康手帳交付と妊婦指導】保健師が個別対応で交付。マタニティケアプランを作成し、必要な保健指導を実施。【妊産婦相談】妊産婦等からの相談に保健師等が対応。【乳幼児相談・スクスク子育て相談室】保護者等からの相談に保健師等が対応。【産後ケア事業】産科等と連携し産後の母子へサービスを提供。【妊婦のための支援給付金】妊婦であることの届出後に 1 回目、胎児の数の届出後に 2 回目を給付。
事務内容	母子健康手帳交付と妊婦指導、妊産婦相談、乳幼児相談、スクスク子育て相談室、産後ケア、妊婦支援給付金交付事務、補助金申請事務

【コスト】

（単位：千円）

		令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
		決算額	決算額	予算額
トータルコスト		173,212	179,854	197,848
事業費		144,335	155,180	173,101
	国庫支出金	94,021	135,218	159,689
	県支出金	23,374	718	4,044
	地方債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	26,940	19,244	9,368
人件費計		28,877	24,674	24,747
	正規（人）	4.31	3.38	3.39
その他経費		0	0	0

	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
【事務事業活動実績】	妊産婦相談 3,176 件 乳幼児相談 2,148 件 スクスク子育て相談室 24 回 / 1,265 人	妊産婦相談 3,685 件 乳幼児相談 2,358 件 スクスク子育て相談室 24 回 / 1,077 人	妊産婦相談 3,100 件 乳幼児相談 2,150 件 スクスク子育て相談室 24 回 / 1,000 人

事務事業評価シート（ 2 / 2 ）

6 頁

令和 8 年 8 月 12 日
15 時 05 分 21 秒

評価年度 令和 7 年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001233030 健康推進課保健指導係
事務事業 02651 母子保健相談支援事業

【定量評価】 上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
妊娠 1 1 週以内の届出率（95%以上維持）	%	0.00 96.40	95.00 96.80	96.50 0.00
乳幼児相談の相談件数	件	0.00 2,148.00	2,150.00 2,358.00	2,150.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性	国・県・民間等がサービスを行っていない 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	1
理由	妊娠中から切れ目のない支援を継続的に行えるのは市のみです。		
2	必要性	市民ニーズの有無 1 市民ニーズは充分にある 2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している 3 市民ニーズはない又は不明である	1
理由	育児の孤立化など社会情勢の変化に伴いニーズは高まっています。		
3	有効性	目標に対する進捗状況 1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である 2 目標を下回る進捗状況である 3 進捗はかなり遅れている	1
理由	目標を上回る進捗です。		
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減 1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている 2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる 3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	2
理由	事務改善に取り組んでいます		
5	公平性	事業規模・サービス水準 1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。 2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。 3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	1
理由	適正に実施しています。		

【1 次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1 次コメント （ 4 0 0 文字 ）	こども家庭センターを設置し、母子保健機能と児童福祉機能の両輪で支援をしていきます。令和 7 年 4 月 1 日からの法整備に伴い、伴走型相談支援と出産・子育て応援交付金による経済的支援が、妊婦等包括相談支援事業と妊婦のための支援給付金による経済的支援に移行しました。母子健康手帳交付及び妊婦指導は、妊婦の個々の状況に応じた相談体制がとれるよう保健師が個別に面談をします。産後の不安に早期に対応できるよう「おめでと電話」を実施し「赤ちゃん訪問」に繋がります。「産後ケア事業」では、令和 6 年度から「訪問型」を追加、令和 7 年度から「訪問型」及び「短時間型」を各 2 回までに拡大しました。安心安全な子育てができるよう、引き続き市民に寄り添った支援を実施します。

【2 次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2 次コメント （ 4 0 0 文字 ）	本事業においては、2 次評価を実施していません。

事務事業評価シート（１／２）

7 頁

令和 8年 8月12日
15時05分21秒

評価年度 令和 7年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001233030 健康推進課保健指導係
事務事業 02652 母子健康教育事業

電話番号 0566-76-1133

【基本情報】

計画回数	03	第 9 次安城市総合計画			
重点戦略	001	しくみ			
分野別	001	1 子育て			
施策の取組	002	安心して生み育てられる環境の整備			
事務事業	010	母子健康教育事業			
事業期間	昭和63年度 ～				
実施方法	一部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
重点戦略	しくみ	マニフェスト			
根拠法令等	母子保健法				
備考	平成 2 8 年度の事務事業の見直しにより、平成 2 9 年度から以下の事業を統合しています。 ・パパママ教室事業 ・母子食育推進事業 ・思春期保健事業				

【事業分析】

対象	【妊婦】妊婦と夫及び支援者が 【乳幼児】乳幼児の保護者及び支援者が 【思春期】幼児、小・中・高校生及びその保護者が
目的	【妊婦】妊娠、出産、育児の正しい知識を得て、不安が軽減できるようになります。 【乳幼児】健康に関心を持ち、正しい知識を身につける機会を得ることができるようになります。 【思春期】からだやこころに関する正しい知識を得て、将来の自分のために考え、悩みや不安が軽減できるようになります。
手段	【妊婦】妊娠、出産、育児に関する知識が学べる教室を開催します。 【乳幼児】育児や離乳食の知識が学べる場を提供します。学校、幼稚園の栄養教諭及び栄養士と食育連絡会議を開催します。 【思春期】学校等と協力して思春期保健教育を行います。思春期保健相談の場を提供します。
事務内容	【妊婦】パパママ教室べんきょう編、えいよう編 【乳幼児】離乳食教室（ステップ1～4）、まちかど講座、食育連絡会議 【思春期】小中学校等での健康教育、学齢期歯科健康教育、思春期保健相談ルーム、性教育用物品の貸し出し

【コスト】

（単位：千円）

		令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
		決算額	決算額	予算額
トータルコスト		5,376	20,336	23,043
事業費		2,897	2,597	4,428
	国庫支出金	0	465	1,355
	県支出金	337	332	0
	地方債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	2,560	1,800	3,073
人件費計		2,479	17,739	18,615
	正規（人）	0.37	2.43	2.55
その他経費		0	0	0

	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
【事務事業活動実績】	【妊婦】パパママ教室 べんきょう編13回・え いよう編11回 【乳児】離乳食教室（ ステップ1 24回、ス テップ2・3 各17回 、ステップ4 6回） 【思春期】健康教育42 回、メールにて随時	【妊婦】パパママ教室 べんきょう編13回・え いよう編10回 【乳児】離乳食教室（ ステップ1 23回、ス テップ2・3 各18回 、ステップ4 6回） 【思春期】健康教育44 回、メールにて随時	【妊婦】パパママ教室 べんきょう編13回・え いよう編10回 【乳児】離乳食教室（ ステップ1 22回、ス テップ2・3 各16回 、ステップ4 6回） 【思春期】健康教育50 回、メールにて随時

事務事業評価シート（ 2 / 2 ）

8 頁
令和 8 年 8 月 12 日
15 時 05 分 21 秒

評価年度 令和 7 年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001233030 健康推進課保健指導係
事務事業 02652 母子健康教育事業

【 定量評価 】 上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
夫婦でのパパママ教室参加率（90%以上）	%	0.00 97.50	90.00 97.70	90.00 0.00
講師派遣及び物品貸し出し件数	件	0.00 45.00	45.00 50.00	45.00 0.00

【 定性評価 】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1 必要性	国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない 2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある 3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	2
理由	安心安全な妊娠期を過ごせるよう教室等参加の機会が必要です。		
2 必要性	市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある 2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している 3 市民ニーズはない又は不明である	1
理由	ライフステージに応じた高い市民ニーズがあります。		
3 有効性	目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である 2 目標を下回る進捗状況である 3 進捗はかなり遅れている	1
理由	目標を上回る進捗です。		
4 効率性	事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている 2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる 3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	2
理由	事務改善に取り組んでいます		
5 公平性	事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。 2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。 3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	1
理由	適正に実施しています。		

【 1 次評価結果 】

事業の方向性	維持・継続
1 次コメント （ 4 0 0 文字 ）	教室等を実施することにより、正しい知識を伝え、安心安全な子育てや自身の生活が送れるよう支援をしていく必要があります。離乳食教室は口腔機能に着目した教室内容に変更して実施しています。今後も、必要に応じて内容を見直しながら、よりよい教室が提供できるようにしていきます。 思春期健康教育では、国のプレコンセプションケア5か年計画に沿った普及・啓発を進めるため、対象を中学生から高校生年代まで拡大し、広く働きかけていきます。

【 2 次評価結果 】

事業の方向性	評価未実施
2 次コメント （ 4 0 0 文字 ）	本事業においては、2 次評価を実施していません。

事務事業評価シート（ 1 / 2 ）

9 頁
令和 8 年 8 月 12 日
15 時 05 分 21 秒

評価年度 令和 7 年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001233030 健康推進課保健指導係
事務事業 02653 赤ちゃん訪問事業

電話番号 0566-76-1133

【基本情報】

計画回数	03	第 9 次安城市総合計画			
重点戦略	001	しくみ			
分野別	001	1 子育て			
施策の取組	001	1 子育て その他			
事務事業	008	赤ちゃん訪問事業			
事業期間	平成21年度 ~				
実施方法	一部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	義務的 / 政策的	性質別費目	
重点戦略	しくみ	マニフェスト			
根拠法令等	母子保健法、児童福祉法				
備考					

【事業分析】

対象	妊婦、産婦、乳幼児及びその養育者が
目的	子育てに関する助言や情報を得たり、育児不安が軽減できるようになります。
手段	【赤ちゃん訪問】保健師や赤ちゃん訪問員が生後 4 か月を迎えるまでの乳児を養育する全家庭を訪問し、育児不安の軽減を図ります。【その他の訪問】母子健康手帳交付、赤ちゃん訪問（未熟児訪問、新生児訪問含む）、乳幼児健診等から保健指導が必要と認めた場合に保健師による訪問指導を行います。
事務内容	乳児家庭全戸訪問事業（こんにちは 赤ちゃん訪問）、養育支援訪問事業、妊産婦・乳幼児等訪問指導、新生児訪問指導、未熟児訪問指導（令和 6 年度から助産師訪問事業は廃止） ケース対応会議（合同ケース会議）、補助金申請事務、カンファレンス等

【コスト】

（単位：千円）

	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
	決算額	決算額	予算額
トータルコスト	21,598	20,639	27,456
事業費	13,156	11,660	13,586
国庫支出金	3,605	3,513	4,000
県支出金	3,605	3,513	4,000
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	5,946	4,634	5,586
人件費計	8,442	8,979	13,870
正規（人）	1.26	1.23	1.90
その他経費	0	0	0

	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
【事務事業活動実績】	赤ちゃん訪問1,280人 低体重児届出97.5% 未熟児訪問10人 （赤ちゃん訪問再掲）	赤ちゃん訪問1,320人 低体重児届出100% 未熟児訪問16人 （赤ちゃん訪問再掲）	赤ちゃん訪問1,380人 低体重児届出97.5% 未熟児訪問10人 （赤ちゃん訪問再掲）

事務事業評価シート（ 2 / 2 ）

評価年度 令和 7 年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001233030 健康推進課保健指導係
事務事業 02653 赤ちゃん訪問事業

【 定量評価 】 上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
赤ちゃん訪問実施率	%	0.00 99.50	100.00 99.20	100.00 0.00
低体重児届出率 (90 % 以上維持)	%	0.00 97.50	95.00 100.00	95.00 0.00

【 定性評価 】

カテゴリ		評価の観点	基準		ランク
1	必要性	国・県・民間等との補完性	1	国・県・民間等がサービスを行っていない	1
			2	国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
			3	国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
	理由	母子保健法、児童福祉法等で市町村業務と定められています。			
2	必要性	市民ニーズの有無	1	市民ニーズは充分にある	1
			2	社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
			3	市民ニーズはない又は不明である	
	理由	子育ての孤立化など社会情勢の変化に伴いニーズは高まっています。			
3	有効性	目標に対する進捗状況	1	目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
			2	目標を下回る進捗状況である	
			3	進捗はかなり遅れている	
	理由	長期入院等で期間外訪問もありますが概ね目標どおりの進捗です。			
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減	1	事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
			2	事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
			3	事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
	理由	事務改善に取り組んでいます			
5	公平性	事業規模・サービス水準	1	環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
			2	環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
			3	環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
	理由	適正に実施しています。			

【 1 次評価結果 】

事業の方向性	維持・継続
1 次コメント (4 0 0 文字)	赤ちゃん訪問は、子どもの健やかな成長を見守り、すべての家庭において直接支援できる事業です。子育てを始める不安の強い出産後早期の支援は、とても重要です。看護師等の専門職が訪問員を担っており、育児不安に対する相談や、子育て情報の提供など、市民のニーズに対応しています。今後も、出産施設との連携を大切にし、妊娠期からの切れ目ない支援を行っていきます。

【 2 次評価結果 】

事業の方向性	評価未実施
2 次コメント (4 0 0 文字)	本事業においては、2 次評価を実施していません。